

令和7年度 旭出小学校 努力点推進計画

1 主題 互いの思いを大切にしながら自律して学び続ける子
—目標に向かって学び続ける旭出っ子の育成—

2 主題について

昨年度の努力点研究

互いの思いを大切にしながら自律して学び続ける子ども像に向かって、子どもたちが互いの考えや疑問を大切に、自他の考えを練り上げたり、振り返ったりできるように学習活動を工夫して、各学年実践を進めることにした。そして、一年間の成長を発表する場「旭出フェスタ」を設けて、4月に学年目標を設定し、カリキュラムマネジメントを行い、学習活動を進めた。

学年目標に向かって様々な教科で何ができるか考え、取り組んできたことで、子どもたちは学習意欲を高め、学び続ける姿が多く見られた。さらに、ゴールに向かって、自分の学びを振り返りながら、学んだことを生かし、主体的に学習に取り組むことができた。そして、その成果を旭出フェスタで発信することができた。

学習活動の導入において、子どもが何を学ぶか、何を学びたいかを捉えさせることで、学び続ける姿が見られるようになってきたが、「何をやるの?」と、何をやりたいか決められない子がいたり、よく分からず、そのまま学習を進めていく子どもの姿も見られたりした。このような姿は、学び続ける姿が十分に身に付いたとはいえないと考える。そこで、本年度は日々の学習でも導入において子どもが学習の目標をつかみ、学習意欲を高めることができるよう、授業研究を進めて工夫していくことで、目標に向かって学び続ける旭出っ子を育てていきたい。

目標に向かって学び続ける旭出っ子を育てるために

○ 子どもが学び続ける授業の工夫

自分の考えや疑問を引き出し、話し合ったり、振り返ったりすることで、何を学ぶかを捉えることができるよう、導入や追究活動、まとめの活動を工夫する。

○ 前期1単元、後期1単元の合計2回、学年で構想し取り組む。

- ・前期と後期の教科は、同じ教科でも、違う教科でもよい。
- ・公開授業発表は、前期・後期いずれかで、一人1回行う。

今年度の努力点授業の流れ

昨年度、カリキュラムマネジメントによって整理した「学習課程」や昨年度の「実践」そして、「今年度の子どもの実態」を参考に「学年目標」を考える。

学年目標というゴールを設定し、そこに向かって学び続けることができるために、以下の方法で研究を進める。

☆前期(5月～9月)で学年実践を行う場合

学びのコンパス研修日(5月7日、6月4日、6月25日)を活用し、どの単元で実践を行うか相談し、9月24日までの学びのコンパス研修日までに学年実践を振り返る。